

ご提案! **自宅が家族を守る避難所に!**
防災に強い家にする。



水なし、ガスなし、電気なしでも…

大阪市や区のハザードマップで、自宅の災害時の危険度チェックもお忘れなく!



安全な部屋



家具の配置見直しと固定を!
転倒防止と避難路確保して
自宅でケガをしない備えを!

自宅の点検のポイントは、いつでも安全な空間になること。背が高い重い家具が倒れても、家族にぶつからず、逃避時の通路や出入口をふさがない様に、配置や向きを見直しましょう。



水・食料(備蓄)



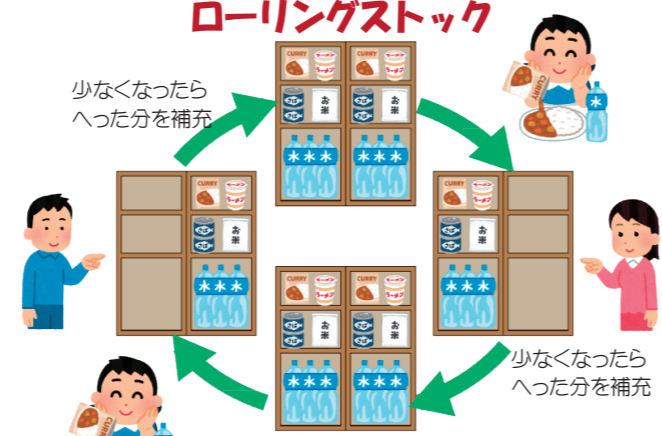
家族の10日間分の水と食料の常備を目標に!

水は、ひとり1日あたり
3リットルが目安です



アルファ米や長期保存水などの特殊な食品でなく、食べなれた保存のきく好きな食品を家族の10日分程度保管。日頃から食べて、減った分だけをまた追加してゆくローリングストックで。

ローリングストック



備蓄のヒント
ふだん食べなれた好きな食品で!

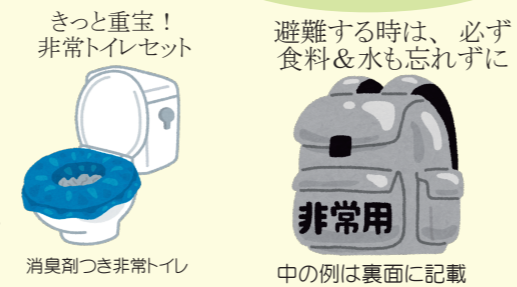
防災備品



電気・水道・ガスなしの境遇で、ないと困るもの、あると便利なものを常備する

- 【例】
カセットコンロ・ボンベ・電池式スマホ充電器・乾電池・非常用トイレセット・ラジオ・テッシュ・LEDランタン・ゴミ袋・除菌グッズ・生理用品・救急セット・レインコート・新聞紙・給水袋・ウエットシート・マスク・消毒液・ラップ・ポリ袋・軍手・ガムテープ・トイレトパーパーなど

非常持出袋

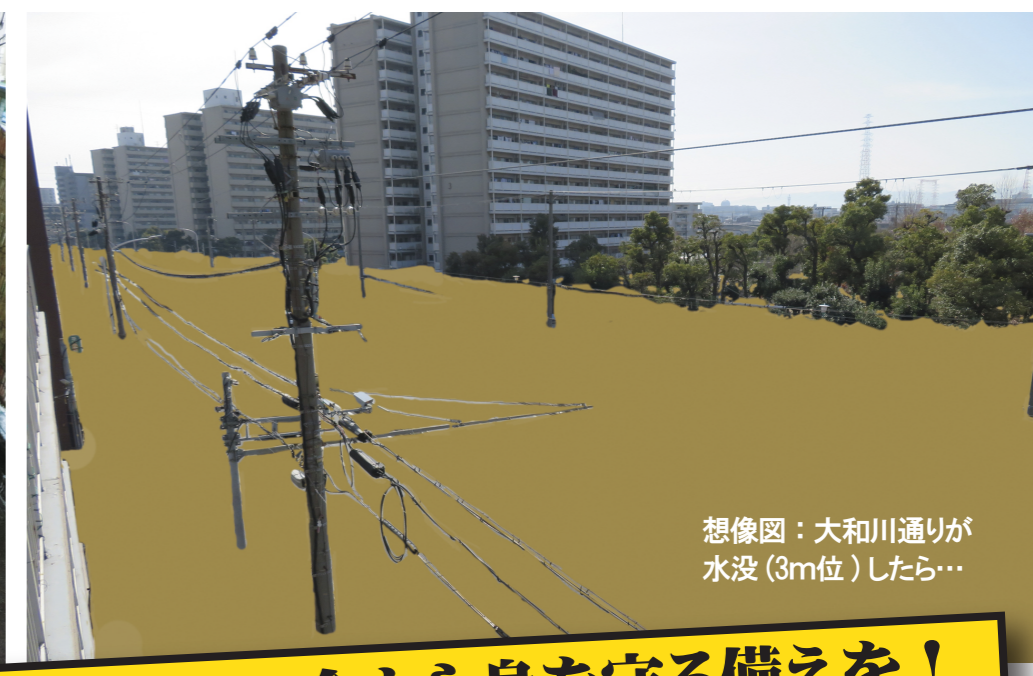


編集後記

表紙のマンション被害の画像は、筆者の自宅(3丁目)です。南向きのベランダは、この台風でパーテーションが取付金具からもぎ取られ隣家とは仕切りなしに…。外れた網戸はガラス窓を割る寸前と、恐ろしい経験でした。新北島に居住して約30年、この台風被害を機会に初めて色々と自分の住む新北島の自然災害の恐れについて調べてみました。わかったことは台風だけでなく、地震に弱い新北島の地盤や活断層の存在、異常気象のゲリラ豪雨等の洪水や地震に耐えられるのか心配な大和川の盛り土堤防、内水氾濫を危惧する落ち葉で詰まった排水溝など…不安満載。「新北島で安心して暮らすには、防災対策・備えは最も大事なテーマ」と言えます。今回の広報テーマはこの「防災特集」。私も備蓄・備品を装備済みです。一人でも多くの方に響きますように。

【広報】企画&デザイン&編集：鈴木、谷口 発行者：さざんか新北島協議会

さざんか新北島



「そのうちに」では遅い? 今から身を守る備えを!

新北島の 防災特集

